

平成 29 年度未来図会議年間テーマ

「はまって、かだつて」に始まるノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり
～障がいや個性などを意識することのない、誰もが暮らしやすいまち～

平成 29 年度 第 6 回（東日本大震災後 第 8 2 回）

陸前高田市保健医療福祉未来図会議

平成 29 年 11 月 9 日(木) 18:30～20:30

陸前高田市役所 4 号棟第 6 会議室

次 第

◆テーマ

「 医療現場から見た陸前高田の健康課題 」

1 開 会

2 挨拶 陸前高田市 民生部長兼保健課長 菅野利尚

3 内 容

(1) 未来図会議が目指してきたこと

陸前高田市被災地絆（きずな・ほだし）づくりアドバイザー 岩室紳也

(2) 医療現場からの声

4 その他連絡・アナウンス

5 閉 会

【事務局：陸前高田市民生部】

※次回（第 83 回）：平成 29 年 12 月 15 日（金）13：30～15：30

◆ 1 2 月メインテーマ： 健やかな地域で育つ、健やかな子ども ～子育ては、つながりづくり～

◆会場：陸前高田市役所 4 号棟 3 階第 6 会議室

平成29年度の陸前高田市保健医療福祉未来図会議の予定

○日程

- H30年： 1月19日（金） 13：30～15：30 未定
2月16日（金） 13：30～15：30 （仮）地域支え合い協議体について
3月23日（金） 13：30～15：30 （仮）はまかだスポットマップについて
-

○未来図会議の趣旨

住民の生活にかかわる関係者が集まり、住民一人一人の健康で文化的な生活及びノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの実現を目指し、震災からの復興に向けた地域にとってよりよい体制づくりに寄与し続けられるよう、保健医療福祉分野の視点から中・長期的な展望を議論する。

○大きな方向性

- ・ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりの推進
「はまってけらいん、かだってけらいん運動」の推進
- ・ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの融合・実践
- ・市民・他分野機関、他地域との協働、未来図（計画）策定
- ・居場所づくり、相互の経験に学ぶネットワークづくり

○陸前高田市保健医療福祉未来図会議メーリングリスト

◆こちらまでお知らせください。

<http://goo.gl/forms/NFUsNqBn3c>

平成29年度 第6回
(震災後82回)
陸前高田市
保健医療福祉未来図会議

平成29年11月9日(木) 18:30~20:30
陸前高田市役所4号棟第6会議室

本日(H29.11/9)の会議の概要

◆テーマ

医療現場から見た陸前高田の健康課題

本日(H29.11/9)の会議の進め方①

◆タイムスケジュール

(1) 未来図会議が目指してきたこと

陸前高田市被災地絆(きずな・ほだし)づくり
アドバイザー 岩室紳也

(2) 医療現場からの声

1年前(H28.12/16)の会議の概要

◆テーマ

エンド・オブ・ライフケアと
地域コミュニティ

～地域でその人らしく最期を
迎えるために～

エンド・オブ・ライフケア？

日本エンドオブライフケア学会(2016年7月設立)
(Japan Society for End-of-Life Care) 設立趣旨抜粋

本学会では、エンドオブライフケアとは、すべての人に死は訪れるものであり、年齢や病気であるか否かに関わらず、人々が差し迫った死、あるいはいつかは来る死について考え、最期までその人らしい生と死を支えること、ならびに生と死を見送った家族が生きることを支えるケアであると考え。 <http://endoflifecare.jp/>

2016年策定
陸前高田市健康づくり推進計画でも明記





6本柱のひとつ

住民と創る医療 (主要な生活習慣病の発症予防と 重症化予防の徹底)

- ① 訪問医療を推進します。
- ② 住民で支える医療に取り組みます。
- ③ 生活習慣病の予防・重症化予防に取り組みます。
- ④ 命について考える機会を増やします。




どう住み慣れた地域で最期を迎えるか

【住民と創る医療の全体目標】

- ① 訪問医療を推進します。
- ② 住民で支える医療に取り組みます。
- ③ 生活習慣病の予防・重症化予防に取り組みます。
- ④ 命について考える機会を増やします。

【ライフステージ別目標】

対象者	目標内容	対応策
子ども	健康について学びましょう。	②③
	命について考えられる機会を増やしましょう。	④
成人	健康について学びましょう。	①③④
	健康教室の企画、参加をしましょう。	①③④
	地域の健康を守るために、助け上手になりましょう。	①②③
	地域ケア会議を運営しましょう。	①②④
高齢者	健康について学びましょう。	①③④
	健康教室の企画、参加をしましょう。	①③④
	地域の健康を守るために、助けられ上手になりましょう。	①②③
	地域ケア会議を運営しましょう。	①②④
	終末期を含めた生について考えましょう。	①②④

【市の取り組み】

①	移動診療所（仮称）の検討 バックアップ病床の確保 訪問薬剤指導の推進	医療機関や多職種多機関と連携して訪問診療を進めるとともに、移動診療所について検討していきます。 訪問診療で在宅生活を継続するために、バックアップ病床の確保を医療機関等と連携して検討していきます。 訪問薬剤指導を支援します。
②	地域ケア会議への支援体制の整備 健康教室の実施 高齢者自立ホームの開設	地域ケア会議の課題について、情報共有と解決を支援します。 健康寿命を向上させるための健康教室を実施します。 要介護高齢者で、冬場にサービスがなくなる地域に居住している独居高齢者の集合住宅の提供を検討します。
	移動等の助け合いの促進 適正受診についての啓発 権利擁護事業・成年後見制度の利用促進	誰もが互いに、移動等を助け合えるように地域勉強会等での育成に取り組み「助けられ上手」「助け上手」の拡大に取り組みます。 多重診療等をなくすために、住民の意識向上を目指します。 権利擁護事業の周知を行い、市民役員の養成を行うなど、擁護する人とされる人の知識と技術の向上を図り、安心して在宅生活が継続できるよう支援していきます。
③	生活習慣病の予防・重症化予防の健康教室の実施 健（検）診の実施	糖尿病と高血圧症についての健康教室を実施しています。 がん検診や聴覚検診を実施しています（5.6ページ参照）。
	命、終末期についての啓発 地域ケア会議への支援体制の整備	講演会等を実施し、学びの場を提供します。 地域ケア会議の課題について、情報共有と解決を支援します。
④	在宅を支える医療資源等の連携の推進	既存の会等への支援を強化します。

行政だけでなく、家庭でも地域でも

【住民、関係機関の取り組み】

家庭	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康について学びましょう。 ● 生活習慣病について家族で理解を深めましょう。 ● 生活習慣病の予防に取り組みましょう。 ● 生活習慣病を発症したら、継続受診をしましょう。 ● 禁煙や分煙を行いましょう。 ● 楽しく元気に体操しましょう。 ● +10（プラステン）を進めましょう。 ● 命、終末期について家族で考え、理解を深めましょう。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動グループの立ち上げや料理教室の実施等、生活習慣病予防の取り組みを地域で行いましょう。 ● 分煙の環境を整備しましょう。 ● 健康について、学びの機会を作りましょう。 ● 地域ケア会議に参加しましょう。 ● 命、終末期について学び、お互いを支えるコミュニティを創りましょう。

みんなで考えたい地域における これからの緩和ケア

～気仙地域の緩和ケアチームの取り組み状況を切り口に～

岩手県立大船渡病院 緩和医療科長
村上雅彦氏

グループではまかだ【1G】 (H28.12/16)

- ①今朝までの「緩和ケア」のイメージとの違いは？
 - ②困ったときに村上先生へだけでなく、どうつながりを持てるか？
- ①何も特別なことではないとわかった
誰にでもできることがあるとわかった
データ→訪問看護ステーション4カ所：支える部分がもっとあってもいい
患者さまだけでなく、家族も支えられるように
究極ははまかだ、地域づくり
がまんしないで言える環境づくりが大切
- ②がんになっても気仙では生きていけるよねという陸前高田にしていきたい

グループではまかだ【2G】 (H28.12/16)

- ①今朝までの「緩和ケア」のイメージとの違いは？
 - ②困ったときに村上先生へだけでなく、どうつながりを持てるか？
- ①緩和ケアのイメージは、痛みを取り除く
→そうではなく、痛みだけでなくQOLの改善、お話を聞くことがいい
痛み からだ ころのいたみ 絶望につながる
→総合的なケアが必要
痛みと睡眠にかかわっていききたい
- ②一步一步、関係性を構築したい
顔、腕、腹が見える関係とし認めあうことが大切
いろんな職種に関わることが大事

グループではまかだ【3G】 (H28.12/16)

- ①今朝までの「緩和ケア」のイメージとの違いは？
 - ②困ったときに村上先生へだけでなく、どうつながりを持てるか？
- ①この地域特徴として下記内容があり、条件が整っているのではない
家が大きい
→場所はあるのではないか
→家族、親類が近くにいるという協力が得られやすい地域
- ②家族だけががんばると続かない、買い物に行けないなど
→いざというとき、病院との連携ができる関係づくり
でも、よくわからない
→実際に病院につなげるのか、本当に入院できるのか、どうかわからない
人、お金、流れ、つながり方
→病気であることを隠さないといけない、知られたくない
近い地域であることから、病気を意識しなければならぬ地域性あるのでは
病気があってもくらせる地域

グループではまかだ【4G】 (H28.12/16)

- ①今朝までの「緩和ケア」のイメージとの違いは？
 - ②困ったときに村上先生へだけでなく、どうつながりを持てるか？
- ①話しを聞くまでは、がんの末期、病気で死ぬに近いというイメージだった
人に話を聞いてもらう、話すことが緩和ケアになっていることがわかった
ご家族ががん患者だった
→自宅にすることができた、最期に入院させてもらった経験
→家族で過ごす部屋をいただくことができた、看取ることができた
大部屋を個室にしてくださった
緩和ケアについて、できれば避けたいな...という思いもある
- ②ご本人が再発を認めず、痛みを我慢しているとき相談したい
相談するタイミングがはかれない、主治医が別の科にいるという現実
セカンドオピニオンをスムーズにつなげられるように、まだ難しい...どうしよう
→私はセカンドオピニオンを受けますというカードがあれば
地元の医師になるべく診ていただけるように..

グループではまかだ【5G】 (H28.12/16)

- ①今朝までの「緩和ケア」のイメージとの違いは？
 - ②困ったときに村上先生へだけでなく、どうつながりを持てるか？
- ①がんに対する団体、チーム、フォーラムが多いので驚いた
麻薬という怖いイメージあったが、苦痛を和らげる
在宅死の増えていること実感している
その人らしい最期
次世代への活動がよい
- ②すべての問題、つらさ、提供できるもの、専門医だけでなく、すべての病気でか
かわることができることわかった
→目の前で痛みで戦っている患者さん、家族が見守っている
多職種でかわるために関係者の連携が大事

グループではまかだ【6G】 (H28.12/16)

- ①今朝までの「緩和ケア」のイメージとの違いは？
 - ②困ったときに村上先生へだけでなく、どうつながりを持てるか？
- ①家で過ごすためには苦しみに対するケアが大事
緩和ケア=最期 ではなく、最初から予防という視点が大事
主治医が変わらずにかかわってほしいな
- ②地域で歩いているとき、相談を受けたとき
→病院に話していいんだと話せる
ケース会議も既に行われている
がん相談センターという情報を得ることができた
家族支援について
→がんに関わらず、在宅で難病などの患者さん、家族への支援
声をかけたり、積極的に関わっていくことが大事
土日、夜間、一人で生活をしている方の対応を考える

未来図会議の目指してきたこと

住民の生活にかかわる**関係者が集まり、住民一人一人の健康で文化的な生活の実現**を目指し、震災のからの復興に向けた地域にとってよりよい体制づくりに**寄与し続けられる**よう、保健医療福祉分野の視点から中・長期的な展望を議論する。

健康日本21(第2次)概念図

健康寿命の延伸・健康格差の縮小

ソーシャルキャピタルの向上

①地域のつながりの強化

- 〈ソーシャルキャピタルの向上〉
- ①地域のつながりの強化
 - 〈多様な活動主体による自発的取組の推進〉
 - ②健康づくりに主体的に関わる国民の割合の増加
 - ③健康づくりの活動に主体的に取り組む企業数の増加
 - ④健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数の増加
 - 〈健康格差の縮小〉
 - ⑤健康格差の実態を把握し、対策に取り組む自治体の増加

絆

どう読みますか

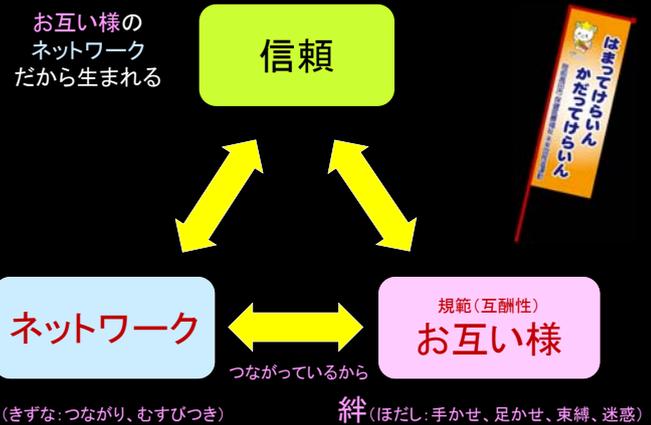
絆(きずな)

(つながり むすびつき)

絆(ほだし)

(手かせ 足かせ 束縛 迷惑)

ソーシャル・キャピタル(絆(きずな+ほだし)がある居場所)の三要素



ソーシャル・キャピタル(絆(きずな+ほだし)がある居場所)の効用

健康面の効用

総死亡率 ↓

自殺率 ↓

自覚的健康度 ↑

健康行動 ↑

喫煙率 ↓

運動習慣 ↑

健康以外の効用

行政効率

まちおこし

防災対策

治安・防犯

子育て

教育

就 労

経済成長

技術革新

ソーシャル・キャピタル(絆(きずな+ほだし)がある居場所)

平成26年度厚生労働科学研究(健康安全・危機管理対策総合研究事業)
「地域保健対策におけるソーシャルキャピタルの活用のあるり方に関する研究」
http://www.jpba.or.jp/sub/menue04_10.html

雑談自体も緩和ケア

⇒人は話すことによって癒される
カール・ロジャース



岩手県立大船渡病院緩和医療科
<http://osofimato-shp.com/kansasac.jp>
村上雅彦先生提供

自立は、依存先を増やすこと

居場所、絆(きずな+ほだし)、関係性が不可欠

希望は、絶望を分かち合うこと

熊谷晋一郎



https://www.tokyo-jinken.or.jp/publication/ft_56_interview.htm

陸前高田市健康文化都市宣言 平成13年9月9日
 私たち陸前高田市民は、白砂青松の高田松原、霊峰赤上山、清流気山川をはじめ、緑あふれる豊かな自然を愛しお楽しみながら、心たおやかに暮らしてきました。
 私たちは、先人によって培われた歴史と文化を継承し、海・山・川に恵まれたこの自然の中で、これからも市民一人ひとりが主体的に、健康で文化の薫る愛にあふれた美しいまちづくりに努めます。
 私たちは、この自然環境を守り続け、すべての人が健康でうらやみに満ちた豊かなまちづくりを目指すことを誓い、ここに「健康文化都市」を宣言いたします。

陸前高田市健康づくり推進計画の目指す姿と基本的な方向

1. 理想的・概念的なもの
「はまってけらいん、かだってけらいん」
2. 目指す姿
「はまって かだって つながって～みんなで輝く陸前高田～」
3. 進むための視点・全体目標
① 誰もが、一生涯(ずっと)、幸せと生きがいを感じられるまちづくり
② 世代間の「はまって、かだって」が進むまちづくり
4. 基本的な方向
① 社会参加で元気づくり
② お互い様で健康づくり
③ はまってけらいん かだってけらいん
④ 誰もが健康になるまちづくり
⑤ 子どもを産み育てやすい、子どもが元気なまちづくり
⑥ 住民と創る医療

陸前高田市 民生部 保健課
 〒029-2292 岩手県陸前高田市高田町字鳴石42番地5
 電話 0192-64-2111

陸前高田市健康づくり推進計画【概要版】

はまって かだって つながって
 ～みんなで輝く陸前高田～
 健康づくり21プラン(第2次)
 みんなの子ども計画
 食育推進基本計画
 2016年～2022年



医師不足 医療ニーズは いろんなところに 医療需要

依存者支援の基本

★失敗したことが正直に言える場所
 (薬物を使ってしまった)

★当事者、援助者同士の「つなぎ」の促進

★薬物使用発覚は治療を深める絶好の機会

★苦痛を緩和するための依存症

★依存者に見られる援助希求性の乏しさ

★援助者は当事者に学ぶ姿勢を



<http://www.amazon.co.jp/dp/4772414746>

HIV診療チームによる薬物使用者支援、薬物依存症のプライマリケア体制づくり(その1)

～個々の専門性と個性を活かしたチームの必要性～

岩室伸也¹⁾、加瀬博貴²⁾、岩崎弥生²⁾、西村浩³⁾、福島ゆきよ⁴⁾、中村繭子⁴⁾、川口明子⁵⁾、岩崎春菜⁶⁾

1) 厚木市立病院泌尿器科、2) 厚木市立病院薬剤科、
 3) 厚木市立病院精神科、4) 厚木市立病院看護部、
 5) 厚木市立病院栄養科、6) 神奈川県健康危機管理課

陸前高田の健康課題

～訪問看護の立場から～

Home Nursing in 気仙事務局
近藤優子 新沼育子 佐藤涼子

訪問看護とは

看護師が自宅に訪問して、その方の病気や障害に応じた看護を行うことです。

健康状態の悪化防止や、回復に向けてお手伝いします。



主治医の指示を受け、病院と同じような医療処置も行います。
自宅で最期を迎えたいという希望に沿った看護も行います。

日本訪問看護財団資料より

訪問看護の内容

日本訪問看護財団資料より

健康状態の観察



病状悪化の防止・回復



療養生活の相談とアドバイス



リハビリテーション



点滴・注射などの医療処置



痛みの軽減や服薬管理



緊急時の対応



主治医、ケアマネジャー、薬剤師、歯科医師との連携

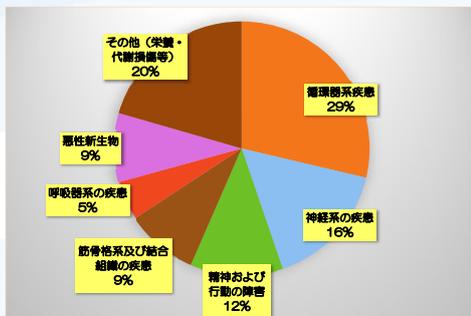
訪問看護の対象

日本訪問看護財団資料より

子供から高齢者、病状や障害が軽くても重くても、医師の指示書があれば全ての人が受けられます。



訪問看護ステーションの利用者の傷病別内訳



厚生労働省「平成25年介護サービス施設・事業所調査結果の概況より」

訪問看護ステーションが提供している看護内容(複数回答)

厚生労働省「平成25年介護サービス施設・事業所調査結果の概況より」



訪問看護の利用可能回数と時間

日本訪問看護財団資料より

介護保険

ケアプランに沿って
訪問1回につき
20分、30分、
1時間、1時間半

どちらの場合も
医師の指示書が
必要です。



医療保険

通常週3回まで
訪問1回につき
30分～1時間半
※病気や状態に応じて
毎日訪問も可能

医療保険の適応疾病

厚生労働大臣が定める疾病等 別表第7

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①末期の悪性腫瘍 ②多発性硬化症 ③重症筋無力症 ④スモン ⑤筋萎縮性側索硬化症 ⑥脊髄小脳変性症 ⑦ハンチントン病 ⑧進行性筋ジストロフィー症 ⑨パーキンソン病疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病(ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であって生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度のものに限る)) | <ul style="list-style-type: none"> ⑩多系統萎縮症(種身体重質変性症、オリブ球小脳萎縮症及びシャイドレーガー症候群) ⑪プリオン病 ⑫亜急性硬化性全脳炎 ⑬ライソゾーム病 ⑭新質自費ジストロフィー ⑮脊髄性筋萎縮症 ⑯球脊髄性筋萎縮症 ⑰慢性炎症性脱髄性多発神経炎 ⑱後天性免疫不全症候群 ⑳頭頸腫瘍 ㉑人工呼吸器を使用している状態(夜間無呼吸のマスク換気は除く) |
|---|--|

要介護者・要支援者
であっても**医療保険**
で訪問看護が行われ
ます。



訪問看護に求められること

日本訪問看護財団資料より

- ・入院先病院等の看護師等と連携し早期在宅移行を促進
- ・地域の訪問看護体制の充実
- ・訪問看護ステーションの機能強化
- ・他機関連携・他職種協働、看護提供の場の拡大
など



気仙地区訪問看護ステーション
が参加する
**Home Nursing
in 気仙**
を2016年に発足

出来ることから
はじめよう!!

Home Nursing in 気仙

気仙地区訪問看護ステーション

- 【大船渡地区】
- ・医療法人勝久会 気仙訪問看護ステーション
- ・(株)ジャパンケアサービス ジャパンケア大船渡
- 【陸前高田地区】
- ・医療法人勝久会 松原訪問看護ステーション
- ・(株)ウェルファー あゆみ訪問看護ステーション
- ・社会福祉法人恩賜財団 済生会高田診療所



Home Nursing in 気仙

- ・2016年8月から開催
- ・事例検討会や講師を招いた研修
- ・終了後食事を通して情報交換など行っている



- ・講師：フィリップス菊池さん
- ・事例紹介
- ・在宅で使用される人工呼吸器の取り扱い方
- ・緊急時の対応



Home Nursing in 気仙



講師：大船渡病院救急看護
認定看護師 小野寺さん
～呼吸について～



今後の課題

- 地域の方々に訪問看護を知ってもらうこと
- 訪問看護師としての知識を深め質の高い看護を提供できること
- 医療・保健・福祉・教育・看護の連携を深めること



病気や障害があっても、
最期まで安心して暮らせるよう
にお手伝いします。



ご清聴ありがとうございました。

みんなで「はまかだ」①

テーマ：医療現場から見た陸前高田の健康課題（H29.11/9）

意見交換

- ・震災後、医療が少ない中でどうやってかかればいいのか考えていた
- ・医療へのアクセス、薬局へのファーストアクセスの場にならないだろうか
- ・薬局は何するところなの？
 - ⇒ 夜中等でも、なんでも相談してもらえるところです
 - …最初の相談できる機能は弱くなっていないか
 - …普段、通っている薬局であればむしろやすくなるのではないか
 - ⇒ 血糖測定などもできるようになっています
 - ⇒ 立地上、震災後、病院前の門前薬局が多くなっている
 - …でも、地域に戻ろうとしているところもある
 - ⇒ 気仙沼はイオンの中に薬局がある
 - ⇒ 薬局に行くようになったのは、院外処方になってからではないか
 - …院外処方ないと入りにくいのかも知れない
 - でも薬剤師さんに相談できてよかった、信頼できる、チェック機能ある
 - ⇒ 市内に点在していたときは、入りやすかった
 - …あそこに行けば、こんな話ができる、のがよかったなあ
 - …親しみやすさは震災前の方があった
- ・まちの保健室という形もある

みんなで「はまかだ」②

テーマ：医療現場から見た陸前高田の健康課題（H29.11/9）

意見交換

- ・認知症や高齢者の方の薬の管理について
 - …薬局、薬剤師に助けられている、訪問薬剤指導も対応してもらっている
 - …個別相談ができる薬局があってもいいのでは（カウンターだと話にくい）
- ・まちの科学者としての役割もあるのではないか
- ・生活を全部、サポートできる（信頼関係）、薬だけでなく支えられリユ
- ・訪問看護師さんから
 - …地域の方々に訪問看護を知ってもらうこと
 - …訪問看護師として、知識を深め、質の高い看護を提供できるように
 - …医療、保健、福祉、教育、看護の連携を深める
- ・病院からも訪問看護出てます（昨夏～）
 - …退院後、1ヶ月くらい、医療保険を使いながら、訪問看護ステーションと連携している
- ・精神科の患者さんへの訪問
 - …薬、話を聞く ⇒ 住民さんが提供できる医療もあると思う

みんなで「はまかだ」③

テーマ：医療現場から見た陸前高田の健康課題（H29.11/9）

意見交換

- ・気仙訪問看護ステーションを立ち上げた経緯
 - ⇒ H4年に制度化、H5年に立ち上げたが、まだ知られていない現実もある
 - ⇒ 訪問看護ステーションとしての報告書を主治医に見せることでまた次につながる
 - ⇒ 訪問看護ステーションからのリハビリによる、成功体験があるとほげみになる
- ・知ってもらうには？
 - ⇒ 薬剤師、看護師のイメージ、専門職なのに身近すぎて、知らないのでは？
 - ⇒ 身近な専門家 …専門家だけど生活を支えていきたい
- ・ホームナーシングin気仙
 - ⇒ 気仙はコミュニティがしっかりしている
 - だから口コミが大きいのではないか、大事なのではないか
 - ⇒ 今ある、資源を活用
 - …みんなが声をかけあい、これから伸びる分野ではないか

みんなで「はまかだ」④

テーマ：医療現場から見た陸前高田の健康課題（H29.11/9）

意見交換

- ・在宅で看取りたい ⇒ 急変などの対応は？ 主治医の先生の指示を受けながら対応
 - …在宅での看取りには同意が必要
 - …同意ないと診てみないとわからない、突発事は救急車が対応かも
- ・訪問医療、在宅医療はわかるか、訪問看護を初めて知った
 - ⇒ 口コミ、はまかだ、が大事だね
- ・薬剤師さんに電話したら、来てくれた
 - ⇒ 安心した、別報酬ではなく、わからなければ行くしかない
 - 毎週1回、顔をあわせて行くだけで安心して、飲めるようになる
- ・薬局は郵便局単位が理想だが、厳しい
 - ⇒ 管理者は薬剤師はその地域以外では動くことはできない
- ・訪問看護のことをどこでも聞いていいんだと思いました

みんなで「はまかだ」⑤

テーマ：医療現場から見た陸前高田の健康課題（H29.11/9）

意見交換

- ・在宅で看取することができる
⇒ 家族が覚悟すればできる、そのことがわかってよかった
- ・在宅介護、看護ができることを知らない
⇒ そのことをお知らせしていきたいと
- ・環境整備
⇒ 薬剤師さん、訪問看護師さん、住民さんがやっている
- ・今も十分に支える医療をしているが、共有していきましょう

4 その他連絡・アナウンス

- ・ 11 / 15～29 : ころの健康づくり計画パブリックコメント
- ・ 11 / 11 : いい歯の日のつどい
- ・ 11 / 23 : たかた★こどもフェス
- ・ 11 / 26 : くちビルディング選手権
- ・ 12 / 3 : AIDS文化フォーラムin陸前高田

次回(平成29年度第7回)未来図会議予定

◆日時

平成29年12月15日(金) 13:30～15:30

◆メインテーマ

健やかな地域で育つ、健やかな子ども
～子育ては、つながりづくり～

◆会場：陸前高田市役所4号棟3階第6会議室

平成29年度の陸前高田市保健医療福祉 未来図会議(月1回)の予定

○日程

H30年： 1月19日(金) 13:30～15:30

2月16日(金) 13:30～15:30

3月23日(金) 13:30～15:30

陸前高田市保健医療福祉未来図会議 メーリングリスト

◆こちらまでお知らせください。

<http://goo.gl/forms/NFUsNqBn3c>

The screenshot shows a web browser window displaying a Google Forms registration page. The browser's address bar shows the URL: docs.google.com/forms/d/1ZVNHASz2jLrZp_YAStoole-u6p6E7FmN8F9_a1hBxxA/viewform?c=0&w=1. The page content includes the title '陸前高田市保健医療福祉未来図会議 参加希望申し込みサイト' and a sub-header '参加希望申し込みサイト'. Below the title, there is a note: '未来図会議への参加をご希望される方はここから申し込んでください。' and a red asterisk indicating a required field. The form contains two input fields: '氏名*' (Name) and 'メールアドレス*' (Email address), both marked as required.

陸前高田市保健医療福祉未来図会議
参加希望申し込みサイト

未来図会議への参加をご希望される方はここから申し込んでください。

*必須

氏名*

メールアドレス*

陸前高田市

こころの健康づくり計画(案) パブリックコメントを募集します

陸前高田市では、市民の心の健康を推進することを目的に、「こころの健康づくり計画(自殺対策計画)」を作成します。市民の皆様や関係機関からご意見・ご提言を募集いたします。

なお、いただいたご意見・ご提言は市ホームページ等で匿名で公表させていただきます場合があります。

募集期間	平成29年11月15日～平成29年11月29日17時
意見の提出方法	陸前高田市役所 保健課あて ○郵送の場合 〒029-2292 陸前高田市高田町字鳴石42-5 ○FAXの場合 0192-55-6118 ○電子メールの場合 hoken@city.rikuzentakata.iwate.jp
計画書(案)閲覧場所	市ホームページ、市役所保健課窓口
お問い合わせ先	陸前高田市役所 保健課保健係 電話：54-2111(内線 241)



「陸前高田市こころの健康づくり計画(自殺対策計画)(案)」

に対する意見

【締切】平成29年11月29日(水曜日) 17時必着

※ 用紙が不足する場合は適宜追加してください。

連絡先	氏名または団体名	
	住所	
	電話番号	

該当箇所	
※該当ページ、項目名等をご記入ください。全般にかかる場合は、「全般」と記入してください。	
意見	

【提出先】 陸前高田市役所 保健課あて

- 郵送の場合 〒029-2292 陸前高田市高田町字鳴石42-5
- FAXの場合 0192(55)6118
- 電子メールの場合 hoken@city.rikuzentakata.iwate.jp

【個人情報の取り扱いについて】

提出された意見の内容を確認させていただく場合があることから、氏名・住所・電話番号の記載をお願いします。これらの個人情報については公表せず、他の目的に利用・提供しないとともに適正に管理します。

平成29年度 いい歯の日のつとめ



11月11日(土)
13時30分～15時30分
アバッセたかた
パブリックスペース

みて

- ☆ 位相差顕微鏡で口腔内の細菌観察
- ☆ 口腔内デジタルカメラで口腔内観察

まなんで

- ☆ 展示コーナー
- ☆ クイズや「パタパタカラス」の曲紹介

イベントに参加
して記念品を
GET!しよう

やってみて

- ☆ 石膏を流して模型制作
- ☆ 清涼飲料水等の糖度測定
- ☆ RDテスト(口の中のミュータンス菌数検査)



主催: 気仙地域歯科保健関係者連絡会

(気仙歯科医師会、岩手県歯科衛生士会気仙支部、大船渡市、陸前高田市、住田町、大船渡保健所)

[お問合せ先] 岩手県大船渡保健所 電話番号: 0192-27-9913

くちビルディング選手権 @陸前高田

2017年
11月26日(日)10:00～13:00

会場：グローバルキャンパス(旧米崎中学校)

住所：陸前高田市米崎町字神田107-10 ※会場詳細は裏面をご覧ください。

参加費：大人400円 子ども100円(昼食代として)

定員：先着50人(個人・家族・友人どなたでも参加できます!)

申込先：一般社団法人未来かなえ機構

TEL:0192-22-7261 FAX:0192-22-7262

mail:mirai-kanae@rondo.ocn.ne.jp

①くちビルディング選手権 10:00～

- ▶ 子どもからお年寄りまでの多世代が混ざり合い、時にはチームで戦うことのできる、口腔機能に特化した新感覚スポーツです。
- ▶ 「くちビル」を楽しむことで、お口ポカンや口呼吸が改善されたり、風邪をひきにくくなったり、表情が豊かになります。
- ▶ 食べることと飲み込むこと。それは生きること。生きるために必要な食べる飲み込むための筋力を楽しく鍛えましょう!

当日の子ども達のお世話サポーター募集中!

②未来かなえネット説明会(ランチ交流会) 12:00～

③口腔機能測定会 ランチ終了後から

- ▶ 食べる。噛む。飲み込む動作に用いる舌や筋肉の能力を測定します。

④表彰式 12:45～

- ▶ 第一回 くちビルディング選手権@陸前高田の勝者は誰だ!?



主催：一般社団法人 未来かなえ機構

住所：〒029-2311 岩手県気仙郡住田町世田米字川向 96-5

営業時間：平日 9:00～17:00 休業日：土日/祝日

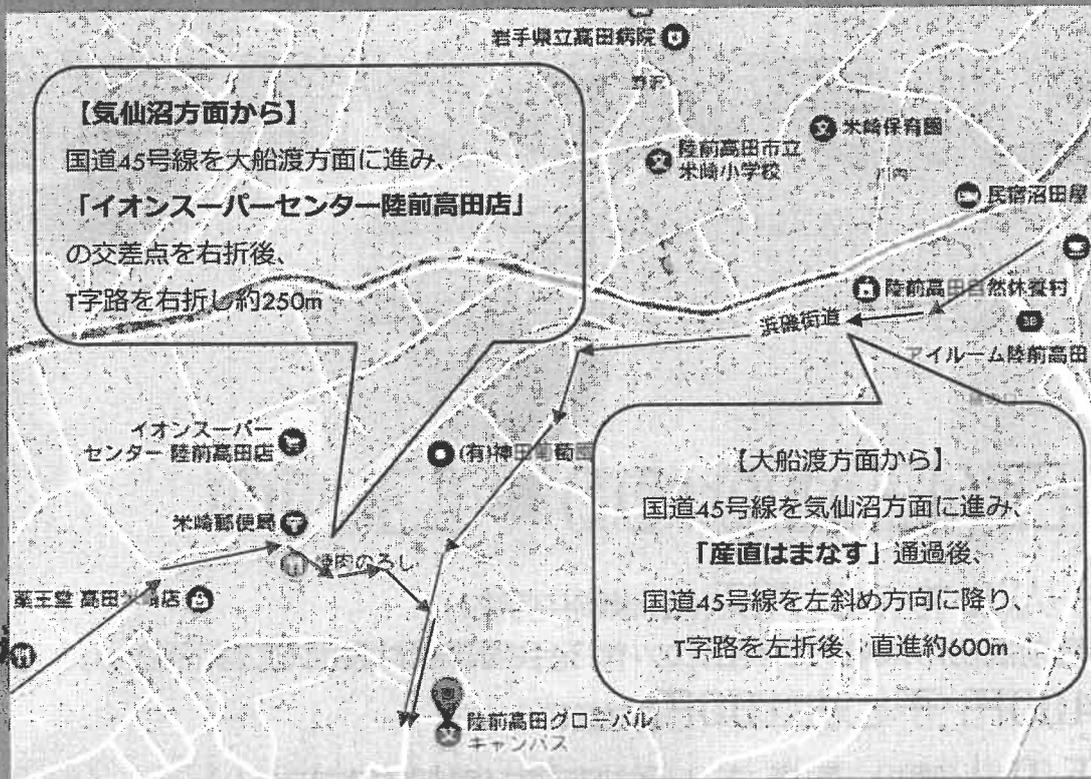
共催：Blooming TAKATA、グッドネイバースカンパニー

会場

陸前高田市グローバルキャンパス

(旧)米崎中学校

住所：陸前高田市米崎町字神田 10 7 10



グッドネイバースカンパニーの仲間たち



グッドネイバースカンパニーとは？

グッドネイバースカンパニーは、地域の医療・保健・福祉の取り組みを、より参加型で創造的なものにする事で、地域や個人が抱える健康課題の解決に貢献することを目指しています。「医療」と聞くと、専門的で難しく、体調が悪くなってからかかるものというイメージが先行しがちです。そこで、私たちは、もっと楽しい雰囲気、もっと多世代で楽しめるプログラムを地域で展開しています。

詳しくはホームページをご覧ください。“グッドネイバースカンパニー”で検索。

Blooming TAKATAってどんな団体なの？



子育てに関する正しい知識の普及や、子どもを取り巻く環境の整備を行い、地域におけるすべての子どもの健やかな成長、そして介護を必要としない元気な高齢者づくりを促すことを目的として活動を行う団体です。医師、歯科医師をはじめとし、地域で子ども達や介護に携わる関係者等が集まり、様々な活動を行っています。今回の「健康づくりセミナー」は陸前高田の健康づくりを促進するため、Blooming TAKATAが行う企画です。

<https://www.facebook.com/bloomingtakata/>

一般社団法人 未来かなえ機構とは？



医療介護保健福祉関係施設をつなぐインフラとして“未来かなえネット”を運営するとともに、住民一人ひとりに基礎的な介護・医療知識を学び、地域に根ざすことを目標で活動しています。多世代がいっしょに体系的に学べるよう、気仙内外の専門職やプロフェッショナルの助言も得ながら、「住民による、住民のための学び場」を提供しています！

～被災地の復興とその先を見据え、 今何をすべきかを考える。～



復興とその先の未来を考えたとき、NPOが地域に果たす役割は何でしょうか。

このフォーラムでは三陸地域の未来をテーマに、自治体の枠にとらわれない多様なセクターの参加のもと、協働による地域づくりとは何かを改めて学び、行政・NPO・企業など地域の未来を担う主体がつながることのできる、地域の枠を超えた連携や協働による課題解決の仕組みづくりを考えます。

●日時・会場

2017年 **11月22日** (水) 13:00～17:30 (開場12:30)

定員 **50名**
参加費無料

釜石市情報交流センター／釜石PIT (岩手県釜石市大町1丁目1番10)

1 13:10～14:00 対談「復興のその先を見据えた地域について」

武隈 義一 氏

(復興庁ボランティア・公益的民間連携班参事官)

×

鹿野 順一 氏

(特定非営利活動法人アットマークリアスNPOサポートセンター)

2 14:00～14:45 キーノートスピーチ

テーマ

「10年後の人の暮らし」



公益社団法人
中越防災安全推進機構

稲垣 文彦 氏

テーマ

「10年後の地域の担い手」



社会福祉法人
黒部市社会福祉協議会

小柴 徳明 氏

テーマ

「10年後の協働の姿」



特定非営利活動法人
ふくおかNPOセンター

古賀 桃子 氏

3 15:00～17:00 分科会

キーノートスピーチのテーマごとに少人数に分かれ、三陸地域の課題の共有と10年後の地域のあるべき姿、仕組みや事業のアイデアを考えます。

●申込方法 裏面の参加申込書にご記入の上、最寄りの申込先へご連絡ください。

主催：特定非営利活動法人アットマークリアスNPOサポートセンター／大船渡市市民活動支援センター
特定非営利活動法人陸前高田まちづくり協働センター／特定非営利活動法人いわて連携復興センター
後援：釜石市、大船渡市、陸前高田市

この事業はタケダ薬品×日本NPOセンター協働事業「タケダ・いのちと暮らし再生プログラム」の助成を受けて実施しています。

●キーノートスピーカーの紹介

キーノートスピーカーはそれぞれの分科会にもご参加いただけます。

公益社団法人中越防災安全推進機構
業務執行理事

稲垣 文彦 氏

(いながき ふみひこ)

2016年3月、長岡技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程修了、博士（工学）。2005年5月、中越復興市民会議を創設。2009年4月～(社)中越防災安全推進機構復興デザインセンター長。2012年4月～ながおか市民協働センター長（兼務）。2015年4月～震災アーカイブス・メモリアルセンター長、柏崎市協働のまちづくり専門官（兼務）。2017年4月～業務執行理事（現職）。主な著書「震災復興が語る農山村再生 地域づくりの本質」（コモンズ、2014）。

社会福祉法人黒部市社会福祉協議会
総務課 経営戦略係長

小柴 徳明 氏

(こしば のりあき)

特定非営利活動法人 明日育（あすいく）理事、保健体育の講師を経て、社会福祉協議会に入社。赤い羽根共同募金改革や広報改革プロジェクト、近隣社協との連携事業などを担当。現在は、平成27年に新設した経営戦略係として法人の基盤強化、経営の中長期ビジョンの策定、シンクタンク事業の立ち上げなどに取り組む。「育つことのすべて」に取り組むNPO法人明日育も立上げ、現在は理事を務める。好きな言葉は「やってみなければ分からない」。

特定非営利活動法人福岡NPOセンター
代表

古賀 桃子 氏

(こが ももこ)

1975年福岡市生。学生時代に福岡市都心部のコミュニティ再生の活動に携わり、98年からは福岡初のNPO支援組織の設立と同時にNPO支援へシフト。00年、九州大学大学院法学研究科修士課程修了、同年事務局局長就任。02年退職、現組織を設立。[草の根から、社会を描く。]を合言葉に、NPO等のマネジメント支援の他、企業や行政、公民館・児童館等の多様な主体間のマッチングや協働のノウハウ提供等、多角的なアプローチで民間非営利セクターの基盤整備を図る。

●申し込み／お問合せ

釜石地域

FAX 0193-27-8121
E-mail info@rias-iwate.net
電話 080-1668-9811（担当者直通携帯：横澤）

大船渡地域

FAX 0192-47-5702
E-mail shimin@ofunatocity.jp
電話 0192-47-5702

陸前高田地域

FAX 0192-47-4778
E-mail rtkyodo@gmail.com
電話 0192-47-4776（担当：三浦）

●アクセス

釜石市情報交流センター

／釜石PIT

（岩手県釜石市大町1丁目1番10）



参加申し込み

* 下記に必要事項をご記入のうえ、FAX、E-mailなどでお申し込みください。

* お申し込みは最寄りの申込先へご連絡ください。（電話でのお申込みも受け付けます。）

* 分科会はいずれか希望するものに○をつけてください。（必須）

団体名・所属	参加者氏名	ご連絡先	参加する分科会
		電話 E-メール	<input type="checkbox"/> 「人の暮らし」 <input type="checkbox"/> 「地域の担い手」 <input type="checkbox"/> 「協働の姿」
		電話 E-メール	<input type="checkbox"/> 「人の暮らし」 <input type="checkbox"/> 「地域の担い手」 <input type="checkbox"/> 「協働の姿」
		電話 E-メール	<input type="checkbox"/> 「人の暮らし」 <input type="checkbox"/> 「地域の担い手」 <input type="checkbox"/> 「協働の姿」

※いただいた個人情報は、本フォーラム開催以外の目的には使用しません。